

# 【ねがいましては】

平成14年6月27日

第147号

KYOWA SCHOOL

「自然治癒力」

自身の力で元通りの状態に戻そうとする力を「自然治癒力」と言うのだと思います。

この力を100%引き出す事を目的とした治療法が漢方。

根こそぎ悪い部分を取り除き、治そうと試みるのが、西洋医学。

ふと思ったのが、このことを子供たちの「勉強」に置き換えてみたら・・

成長期にある子供たちは、私たちが遠い昔に、きっと同様に感じていたであろう「疲れを知らないパワー」でみなぎっています。これでもかと遊んでいても、いっこうに疲れた表情を見せません。ただ、勉強に関しては表情は一変します。特に家庭で、学校で・・・。

おかあさんたちは、その子供たちの表情の変化に気づきながらも、感情的な言葉で「西洋医学的治療」を試みます。「早く宿題終わらせなさい」「いつまでぐずぐずやってるの、そんな簡単なことを・・。」など、多種多彩。前予告なしに、いきなり治療を試みる姿は、嫌がる子供に注射をさせる姿に似ています。その痛さを知った彼らは、「注射」と聞いただけで・・・・・・

勉強も、きっとこのような心理にさせてしまうのかもしれないと、このごろふと思うことが多くなりました。

子供たちから積極的に質問にくる光景は、自然治癒の力でみなぎり始めたものに似ています。

私はそんな気持ちを手に入れた子供達を見るのがとても楽しみです。

先日もある高校生が、真剣に英語を取り戻そうとしている友人に文法をアドバイスしたいので、細かい部分を教えてもらいたいとやってきました。人を思いやる気持ちが、このようにして彼女自身も元気にしているのです。少しして思い出したように、「あっ、この前の中間テスト、学年で1位でした。」とのこと。2年連続して学年1位の子が現れるとは思っても見なかったことです。その二人ともが、1位を狙っていなかったことは言うまでもありません。それより何より、友達に協力の手を差し伸べる気持ちが、わたしには嬉しくてならないことなのです。

この教室にやってくる子供達のほとんどが、勉強に打ちのめされて、机に向かうことに関してある種の「固定観念」が完全に支配してしまっています。

勉強→競争 勉強→比較 勉強→言われたとおりにする 勉強→やればいい・・・・・・

この教室の勉強→質問するもの 勉強→助け合うもの 勉強→自分のスピードでするもの

勉強→学年にとらわれないもの 理想ばかりかもしれませんが、子供たちにこのことを投げかけてみると、すべてが後者を指示することは言うまでもありません。中学校の期末試験も終わりました。机に向かう、パソコンに向かう子供たちの生き生きとした表情は、自然治癒力で見事に生き返った表情です。

これからもどんどん成長する時期です。内からみなぎるエネルギーを思い切り発散してもらいたいと願っています。

7月の予定

7月 5日（金）

珠算・暗算検定試験申し込み締め切り

17日（水）～20（土）珠算・暗算検定試験・・・KYOWA SCHOOL

21日（日）→夏休みスケジュール開始 細かいことに関しては、別にお手紙をお渡しします。